

秋のバザー

11月8日(土) 午後12:30～4:30



☆☆ダイニングエリア&お持ち帰りコーナー☆☆
うどん、お寿司、お弁当、串焼き、天ぷら、チャーメン、
ベーキング、お饅頭などなど圧倒的な品揃えの美味しい料理



♪♪フリーマーケット♪♪

クラフト、観葉植物、リサイクル品、古本などバーゲン品の数々



\$ \$ ラッフル宝くじ・サイレントオークション \$ \$

1等3000ドルのラッフル宝くじ抽選会とサイレントオークションも開催

サイレントオークション・リサイクル品のドネーションをお願いします

リサイクル品テーブルへのドネーションを11月3日(月)より受け入れ開始します
ただし洋服、おもちゃ、正常に作動しないものはお断りしておりますのでご了承下さい
またサイレントオークションへご出品いただける方も募集しております

第15回世界仏教婦人会大会



2015・WORLD
BUDDHIST
WOMEN'S
CONVENTION

第15回世界仏婦大会が来年の5月30～31日カルガリーにて開催されます

11月29日が参加受付の最終締切ですのでぜひお申し込み下さい

本大会は年齢、国籍、人種を越えて、国際規模で浄土真宗婦人会の交流を深める事を目的とした大会です。北米・日本・南米の仏教徒が一緒になって、経験を共有し合い、ともに学び、仏様のみ教えを聴聞し、さらにお念仏の輪を広げる素晴らしい機会になる事でしょう。

英語基調講演
宇宿 パトリシア師



日本語基調講演
やなせ なな師



大会ウェブサイトより参加申し込みが可能です

www.wbwconvention.com



毎月第1・3日曜はお寺でHAVE A FUN!!

10時半からのキッズサービスに引き続き
楽しいクラスやアクティビティを通して
アミダさまのお心を学びましょう

☆クラス予定表☆

11月16日(日)

12月7日(日)

12月21日(日)

お子さんをお持ちの方はぜひご参加下さい

トント仏教会 年次総会のお知らせ

11月30日(日)

午後1時より

上記の日程で、2014年度年次総会を行わせていただきますので、会員の皆様は出来る限りご出席いただきますようお願い申し上げます。

なおどなたでもご出席はいただけますが、投票権があるのは会員の方のみとなりますのでご了承くださいませようあわせてお知らせ申し上げます

さよなら、藤井先生ご家族

日本でお元気に



永代経のご案内

11月16日(日)午前11時

「永代経」とは、永代読経の略で、永代にわたりこの先もずっとお寺でお経が読まれ、仏法が永く相続されていく事を願ってお勤めする法要です。浄土真宗においては、先に往生された方々を偲び、その方をご縁として、一人ひとりがこうして今、仏法に遇わせていただけた事を感謝する大切なお参りのひとつです。過去に永代経ご懇志をあげていただきました皆様は、ぜひご家族おそろいでお参りになって下さい。

またトント仏教会のますますの仏法繁盛を願い、永代経に記帳をご希望の方がおられましたら、永代経当日までに、事務所までご連絡下さい。その際にはお一人ずつの法名をご用意下さい。

大坂建立章の大意

この攝津の生玉の庄内大坂に坊舎を建て、もう三年が過ぎました。この場所に住んでいるのは、一生を安穩に過ごし、華やかでぜいたくな生活をしたり、また花鳥風月などに心をよせるためではありません。

信心を決定する人も増え、念仏する人々が多く育ってほしいと思うばかりです。もし少しでもとらわれをもって、無理難題をいうような人があるようなら、この地にとどまろうとは思わずにすぐに離れるべきであります。

僧侶であるか俗人であるかなどに関係なく、信心を決定することこそが、阿弥陀如来や、ことに親鸞聖人のご本意に沿うものであります。

私も八十四歳になりましたが、この夏ごろから体調が悪くなり、快復のきざしがありません。この冬にはきつと往生の素懷をとげることになるでしょう。

それにつけても、生きているうちに、みなが信心決定するようにと、朝な夕なそのことばかりを思っています。

信心を得ることは、人間のはからいによることではありませんが、いつもそのことを思っています。

どうか、この七日間の報恩講において、だれもが信心を決定して、ともどもに浄土往生をとげたいものです。

(四帖第十五通)

敬 弔

次の方々が御往生されました
生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

柴田 のぶこ様
九十五歳 十月三日往生

稲本 藤男様
九十一歳 十月十五日往生

藤本 のぼる様
八十四歳 十月二十三日往生



年忌(年回)法要

次の年にご往生された方は年忌法要が回ってまいります
個別での法事をご希望の場合はお寺までご連絡下さい

一周忌(二〇一三年) 三回忌(二〇一二年)

七回忌(二〇〇八年) 十三回忌(二〇〇二年)

十七回忌(一九九八年) 二十三回忌(一九九二年)

二十五回忌(一九九〇年) 二十七回忌(一九八八年)

三十三回忌(一九八二年) 五十回忌(一九六五年)

佛心

二〇一四年十一月号
浄土真宗
トロント本願寺

カナダの地で秋を迎えて



今日、母がうれしそうに、カナダにスカイプを通して話してきました。長野の山の家のあたりは、カナダと同じようにいよいよ秋が深まっているそうです。竜神池という池の湖面すれすれに伸ばした桜の枝に残る葉が澄んだ空気の中でさらさら紅く輝いていて、風にいつ吹き飛ばされてしまうかわからない、わずかな葉ですが、本当に美しく、そこにいられるだけで、(有難う)と思わずつぶやく心境だったということです。

私がトロントに来て早、三ヶ月が経ちました。イースタン・ブツデリスト・リーグ、カナダの開教師の集う開教師会議、ケネス田中先生の講演会、秋彼岸会、祥月法要と大きなイベントが続きました。よく、メンバーの方から「もう、慣れた？」と聞かれます。「はい。慣れたと思います。」と答えてはいるのですが、本当にクリスティーナ先生、ホームステイ先、会長、お寺の事務の方々、他の開教師、皆様方の温かい応援をいただいて、やっと、息をしている私です。まだまだ、余裕をもって対処できるようにするには時間と努力が必要だと思います。メンバーの方々や阿弥陀仏の導きによって、そうなっていくとらと望む次第です。

また九月以降、いくつかの葬儀を司らさせていただいております。

私達は、生を受けた以上、必ず、死を迎えます。

皆様、九十歳近いまたはそれ以上のご年齢で亡くなられていらっしゃる方々ですが、ご家族の言葉から、皆に慕われ、愛されていた事がわかり、本当に輝いた命でいらしたと、実感せずにはいられません。

ひよっとしたら、忙しく、時間があつという間に過ぎ去り、自然の少ない東京周辺で暮らすより、自然に恵まれたカナダで暮らしていらっ

しやることが、こんなに心豊かな人生を送られた理由かなと、皆様様がそうだったので、正直思ったほどです。もちろん、どんなにすばらしい環境にいても、それを感じる心がなくては、理解する智慧がなければ、それは出来ません。祖国が敵国となった厳しい時代も乗り越えていらした方々です。その中にもあつても、浄土真宗の御教えをしつかり守り、自身の命の大切さを自覚して、一生懸命生き抜いてこられた、家族、仲間同士、支えあつて生き抜かれてきたと、理解します。そして、どんなに不合理な扱いを受けても、決して恨み言を言わず、子孫に、憎しみの心を継承させていません。だから、次の世代がカナダの地で、又、心豊かに生きていけるのでしょう。

心豊かに、大切にこの命を生きる、私達は人生の最期を迎えた時、どんな事が心に浮かぶのでしょうか。ああ、あと、いくらいくら、お金を、手にしたかった、儲けたかったなんて、考えません。物を所有することに全く、意味がなくなるのです。そこで初めて、自分にとって、本当に大切なものが、明らかにされます。よく死を宣告された人が、今まで何とも思わなかった景色が、空が、木が、鳥のさえずりが、身の回りのすべてが、なんと美しく、愛おしいものか、素晴らしいものか、見えてくる、感じられてくるという話を耳にします。自分の命の消えるとき、自分を包むいろいろな命の尊さに気がつくのでしょうか。

阿弥陀様は煩惱に苛まれて、何が大切で、重要なことか、人生においてなすべき勤めは何か、分らない私達に、南无阿弥陀仏というお名号となつて常に「目覚めよ。私に帰命せよ。」と呼びかけてくださっています。私に恵まれたいのちに感謝し、同時に私を取り巻くすべてのいのちに感謝する、煩惱のさわりのない世界へ導いてくださっているのです。

私の母は、ボーンクリスチャンですが「今、私に信仰心はない」と言っている人です。でも昨日の母の感想を聞いて「うーん、母も仏教的見方ができるようになってきている。私の影響だろう。」と、うれしく思いました。

すばらしいメンバーの方々には囲まれて、カナダの地で私の命の時間を仏教とともに味わう時間につかえる喜びを改めて感じます。

合掌

駐在開教使 遠藤竜平